

ピリミノバックメチル剤 ヒエクリーン豆つぶ250	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： クミカ
成分： ピリミノバックメチル〔ピリミジニルカルボン酸系 PRTR・1種〕4.8 %	性状： 類白色粒状 粒径3～8mm 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- 粒径約5mmの豆つぶ製剤で、10 a 当りの使用量が250gと軽量、省力型の水稲用ノビエ専用除草剤である。
- フロアブルやジャンボ剤と同様の自己拡散型製剤で、水中拡散性が極めて優れているため不均一散布が可能である。
- ノビエに対する殺草適期幅が広く、発生前から4葉期まで効果がある。
- 土壌処理効果があり、長期間ノビエの発生を抑える。
- 稲・ヒエ間には極めて高い選択性があり、稲に対して高い安全性を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ノビエの発生前から4葉期（直播水稲は3葉期）に有効なので、時期を失ないように散布する。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態（水深5～6cm）にして水の出入りを止める。

【薬効・薬害等の注意】

- 共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 藻類・表層剥離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布をさけ、本田内で、水田全面に散布する。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意する。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。

- 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
- 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
- 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布する。
- 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないように十分注意する。

- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。

- 直播水稲に使用する場合は、以下の点に注意する。

- 稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので使用をさける。
- 除草効果の低下と生育抑制の葉害が発生するおそれがあるので、入水後水待ちの安定した後に散布する。

- せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意する。

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

【安全対策上の注意】

- 無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	ノビエ	移植後 15 日～ノビエ 4 葉期 但し，収穫 45 日前まで	250g	湛水散布， 湛水周縁散布 又は 無人ヘリコプター による散布	1 回 ※
直播水稻		稲 3 葉期～ノビエ 3 葉期 但し，収穫 45 日前まで		湛水散布 又は 無人ヘリコプター による散布	

※ピリミノバックメチルを含む農薬の総使用回数：2 回以内